

実証概要

設定した解決したい課題

災害発生時の円滑で迅速な応急対策活動を実施するために、年度毎に職員配備計画を作成している。
災害対策本部の要員と一次代行者を確定して職員配備計画完成までに多くの時間がかかるため、作業時間を短縮したい。

解決の方向性（実証事業者との協議結果）

Kintone(ノーコード・ローコードツール)を活用し、災害発生時の職員配備計画を効率的に作成できるシステムを開発する。

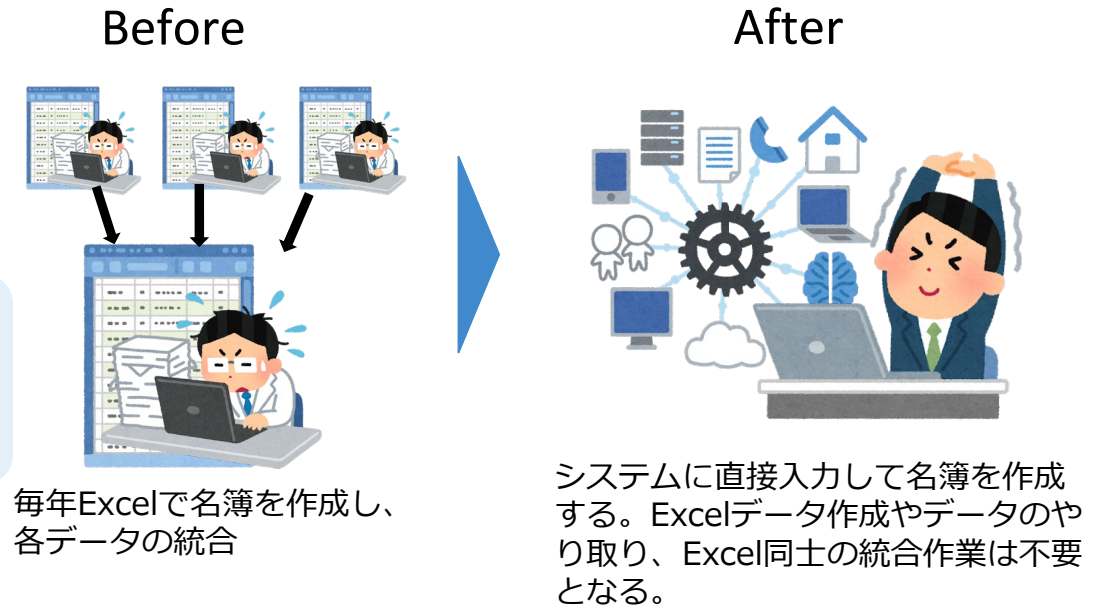
<検証項目・KPI>

- ・ 利用者の満足度（70%以上）
- ・ 各局の名簿を災害対策課がとりまとめる時間の削減

試行運用の概要

<方法> 職員配備計画作成システムにより、各局に依頼する名簿作成時、名簿とりまとめの時間の短縮や利用者の満足度を検証する。

<期間> 2024年11月18日～11月29日



実証結果

工夫したポイント

- ✓ 毎回データを入力し直していたが、入力作業の省力化をするため、前年度の職員情報を自動で名簿に利用できる設定とした。
- ✓ 未入力情報は黄色のマーカーで表示し、未入力者が一目でわかるシステムを構築した。また、未入力者を一覧で抽出も可能とした。

実証実験の評価及びKPIの結果

- ✓ 職員情報を取得しフォーム入力する事で、入力作業の効率化ができた。
- ✓ 業務フローが複雑化しているため、開発中に業務フローの見直しができ、その重要性を確認することができた。

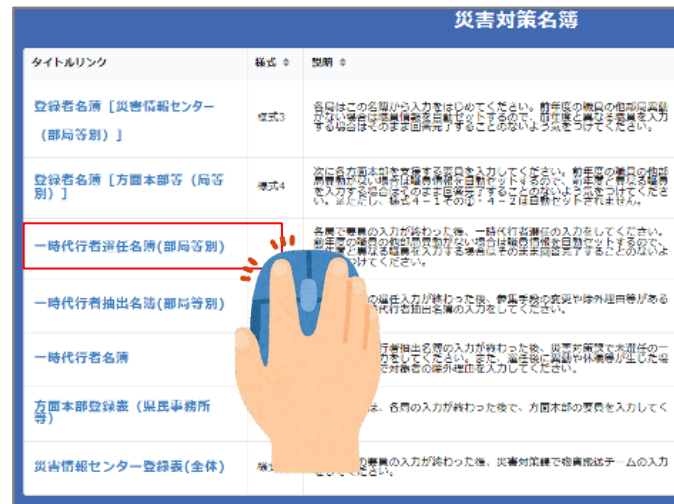
<KPIに関連する結果>

- ・ 利用者の満足度
本システムの導入意向において、70%の人が「導入したい」「どちらかと言えば導入したい」を選択
- ・ 各局の名簿を災害対策課がとりまとめる時間 78時間→40時間（38時間の削減）

導入に向けての課題と解決策

- ✓ システム導入した場合、従来取りまとめを行っていた各局主管課の役割の見直しと、業務フローの再設計が必要になる。
- ✓ 職員を重複登録するケースがあるため、重複許可などのフラグ設定をすることにより、適切に運用することが可能となる。

システム画面



入力作業を一覧できるシステムトップ画面

入力画面



該当の職員を各名簿に登録するための入力画面